

# 質きぱくタンパク質の正常な保つ働き

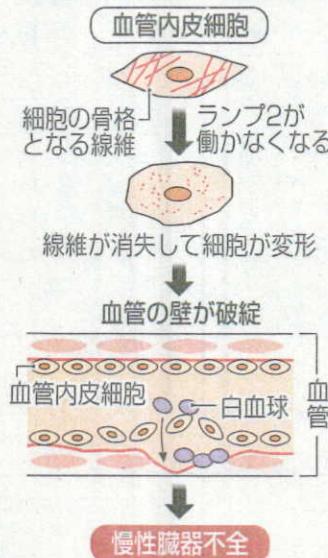
## 信大チーム解説

信大医学系研究科（松本市）の新藤隆行教授（46）は、循環病態学の研究チームは15日、体内のタンパク質2種類が職

器を正常に保つ上で重要な働きをしていることを突き止めると発表した。これらがきちんと働かないと血管の構造が崩れ、心全や肝不全といった「慢性臓器不全」につながるため、動きを高める薬を作り、予防や治療につなげる考えだ。

## 慢性臓器不全 治療に光

ランプ2が動かず慢性臓器不全が起きる仕組み



2種類は、血管を広げたりM」と、AMが結合する新たに作つたりする働きがある「アドレノメデュリン（AM）の働きを調節する「ランプ細胞の膜表面にある受容体細胞の骨格となる線維」の働きを調節する「ランプ」

2。新藤教授らはこれまでAMとランプ2に血管の構造を安定化させる働きがあることを明らかにしてい

た。今回、特殊な遺伝子改変でランプ2が作られなくなったマウスで調べた結果、血管の内側にある内皮細胞の骨格を作る線維が消え、細胞が血管の壁からはがれるなどし、血管の構造が破綻。そこから漏

れた白血球が周囲に炎症を引き起こし、心臓や肝臓などを

さまざまな臓器で慢性臓器不全につながることが分かった。新藤教授は「タンパク質の働きを高める化合物や抗体（特定の異物に結合するタン

き）」を用いて治療につながる。5年後を目指し実用化したい」とし、タンパク質の働きを高める薬の研究を始めたとした。研究成果は医学誌「サイエンス」（電子版）などに発表した。

## 住宅の除染 完了は23%

福島除く7県で調査 環境省は15日、東京電力福島第1原発事故に伴い市町村が除染を進める東北、関東地方の7県（福島県を除く）を対象に、昨年12月末時点の除染の進捗状況を発表した。

住宅は予定数10万3713戸のうち42%で業者に発注を終えたが、作業終了は2万3762戸。前回調査時から終了数は約7千戸増加したが、予定数も約9千戸増えた。

どまつた農地も予定の26%のみで、森林で終了したのはごく一部だった。昨年11月に公表した8月末現在の集計に続き2回目。環境省は「自治体ごとに事情が異なり傾向はつかみにくい」と説明している。

パク質を見つければ慢性臓器不全の治療につながる。5年後を目指し実用化したい」とし、タンパク質の働きを高める薬の研究を始めたとした。研究成果は医学誌「サイエンス」（電子版）などに発表した。

## 県内のガソリンスタンド

### 34施設休廃止の意向

老朽タンク改修義務化で

漏油事故による土壤汚染を防ぐため、消防庁がガソリン

スタンドに義務付けた老朽地

下タンクの改修・交換に対応できないなどとして、県内の34施設が休廃止の意向を示していることが15日、県消防課が取り消される場合もある。

## また金の延べ板 所に2000万円相当

T486-0845  
宮城県石巻市穀町12番18  
石巻復興支援ネットワーク様  
枚（計4枚）、時価約2千万円相当）がそれぞれ2回にわたって郵送で届いたことが15日、分かった。いずれも匿名で、「長野中央」「長野東」と長野市内の郵便局の消印が押されていた。

東日本大震災で被災した宮城県石巻市のNPO法人など2カ所に今月上旬、金の延べ板6

枚（計4枚）、時価約2千万円相当）がそれ

ぞれ2回にわたって郵送で届いたことが15日、

分かった。いずれも匿名で、「長野中央」「長

野東」と長野市内の郵便局の消印が押されて

いた。

消防庁は、設置から40年以

上たった地下タンクなどの改

修を事業者に義務化。未対策

の事業者はタンクの使用許可

が取り消される場合もある。

消防庁は、設置から40年以

上たった地下タンクなどの